



## 湯前町 Yunomae Town



# 防災タワー「EPB」の導入事例 熊本県 湯前町 総務課 様

## BCP(事業継続計画)の一環として 防災タワー「EPB」を導入

●今回のご導入に関してご担当されたお2人  
総務課 管理防災係

(本庁社内での  
打合せの様子)



(黒木様)



(姫野様)



**湯前町プロフィール** 熊本県の南部に位置し、平野部は球磨盆地の東端、山間部は九州山地の一角を占めています。町の中心部から、熊本市まで118Km、宮崎市まで120Km、鹿児島市まで110Kmと三つの県都からほぼ等距離に位置しています。

令和2年7月には球磨川流域における激甚災害(令和2年7月豪雨災害)に見舞われました。人的被害はなかったものの、道路、河川、農地、農業用施設、林道などに甚大な被害が発生し、その復旧・復興が喫緊の課題となっています。令和3年度の主な施策でも「命を守る安心安全のまちづくり」を1番に掲げています。

### ●導入のきっかけは？目的は？

- ・災害時等における停電時の本部機能の維持と避難所の安全を図る為の非常用電源を探していた。
- ・タイミングよく、熊本無線さんからEPBの紹介を頂いた。町の要求に対してEPBの内容が一致した。

### ●導入のポイントは？決め手は

- ・通常業務の邪魔にならないコンパクト性。一か所に必要最小限の機材がまとめられている。
- ・タワー本体がスリムでかつ軽量なので持ち運びし易く移動が簡単で配備し易い。
- ・収納されている機材が使い易く、災害時だけでなく、多くの場面での活用できる可能性が高い。
- ・バッテリーの充電方式の多様性と多数のスマホの充電が可能なので避難所等で有効。

### ●ご利用状況

#### 防災タワー「EPB」2台

設置場所： 役場庁舎1F玄関ロビー1台  
保健センターホール入口1台  
(収納品) モバイルバッテリー(充電器付き)1、  
LED電球2、防災ライト5、投光器1

#### ●本庁舎1Fロビー



#### ●保険センター玄関ホール



## ■販売会社様の欄

### ●会社様ご紹介

「株式会社熊本無線」

代表取締役 古澤 貴生 様



平成4年1月に設立されました。各種無線機・通信機器、音響機器セキュリティ機器の販売と保守全般を主な業務としています。熊本県内を主体に、九州域内の官公庁、民間企業各種団体を主取引先として企業活動を展開しています。

### ●今回の商談のポイントは？

- ・災害時の電気電力不足に対するバックアップ体制を充実させる為に役立つ防災用品という点を評価頂けた。

### ●今後の展開についての考えは？

- ・災害発生時に孤立集落となり得る地域を抱えている自治体は数多く存在します。まずは自治体本部からの取組を勧め、将来的には対象地域の拠点を含む設置の充実を図りたい。
- ・通信機器や防災用品を1つにまとめ、BCPや危機管理を中心にお役に立てる企業になりたい。